Creative Enzymes®

セラチア・マルセッセンス由来の不動化リパーゼ-A、組換え型

Cat. No. NATE-1621

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	リパーゼ (EC 3.1.1.3) は、脂肪や油の加水分解を触媒する普遍的な酵素です。セラチア・マルケセンスのリパーゼは、トランス-3-(4-メトキシフェニル) グリシジン酸メチルエステル [(±)-MPGM] の生体触媒的加水分解における優れたエナンチオ選□性で認識されており、ジルチアゼム塩酸塩の合成における重要な中間体である (2R, 3S)-3-(4-メトキシフェニル) グリシジン酸メチルエステル [(-)-MPGM] を生成します。
別名	リパーゼ

製品情報

種	セラチア・マルセッセンス
由来	E. コリ
形態	滅菌フィルター処理された凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.1.3
CAS登□番号	9001-62-1
分子量	65 kDa
純度	>90%
溶解度	凍結乾燥されたリパーゼ-Aを無菌の10%-50% DMSO、イソプロピルエーテル、石油エーテル、エタノール、アセトン、イソプロパノールで再構成することを推□します。
単位定義	リパーゼ活性の1単位は、1分あたり1.0 μmolのp-ニトロフェノールを放出する酵素の量として定義されました。

保管・発送情報

安定性	リパーゼ-Aは室温で1週間安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。長期保存のためには、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することをお勧めします。凍結-解凍サイクルを防いでください。